

長島首相補佐官 中央アジア歴訪

来月8日まで

政府は29日、長島昭久首相補佐官が石破首相の特使として、29日～2月8日の日程で中央アジア5か国を訪問すると発表した。

訪れるのは、カザフスタン、ウズベキスタン、キルギス、タジキスタン、トルクメニスタンの各国。中央アジアは中国やロシアが経済面の結び付きを強めており、長島氏は関係強化に向けて脱炭素に向けた技術協力などを確認する。

岸田前首相は昨年8月にカザフスタンでの5か国との初の首脳会談を調整したが、南海トラフ地震の臨時情報（巨大地震注意）を受けて外遊を取りやめた経緯がある。長島氏は石破首相の親書を各国要人に渡し、首脳会談の調整も進める。